

第3章 障害福祉サービス等の量の見込み

第1節 訪問系サービス

第2節 日中活動系サービス

第3節 居住系サービス

第4節 相談支援

第5節 障害児支援

第6節 地域生活支援事業

第1節 訪問系サービス

訪問系サービスとは、ホームヘルパー等が障害者の居宅を訪問して、介護や家事援助等の必要な援助を行うものをいいます。

(1) 居宅介護、重度訪問介護

<サービス内容>

居宅介護は、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護等を行う事業です。

重度訪問介護は、重度の障害のある人で常に介護を必要とする人に、自宅で、入浴、排せつ、食事の介護、外出時における移動支援等を総合的に行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

居宅介護については、入院入所や死亡等のほか、65歳到達に伴い介護保険へ移行したことによる終了により見込量を下回る実績となっています。重度訪問介護については、ヘルパーの人材不足により長時間のサービス提供が困難となっていることから、プランの見直しを行い居宅介護に振り替える対応を行ったため見込量を下回る実績となっています。

(単位：時間/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
居宅介護	見込量	441	454	462
	利用実績	358	417	見込 (428)
重度訪問介護	見込量	230	230	230
	利用実績	180	165	見込 (166)

<計画>

居宅介護については、ひとり暮らしの人や要支援家庭の在宅生活の維持や介護者の負担軽減等から利用時間の増加を見込んでいます。重度訪問介護については現状と同程度のサービス量を見込んでいます。

(単位：時間/月)

区分/年度		R 6	R 7	R 8
居宅介護		450	475	500
重度訪問介護		166	166	166

(2) 同行援護

<サービス内容>

視覚障害により、移動に著しい困難を有する障害者等につき、外出時において、移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護等を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

主に市内2事業所により実施していますが、事業所の体制等によりサービス提供が困難な場合もあり、見込量を下回っています。同行援護でのサービス提供が困難な場合には移動支援（地域生活支援事業）等で、同等のサービス提供を行っています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出の自粛により、利用実績は減少していましたが、徐々に増加傾向にあります。

(単位：時間/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
同行援護	見込量	133	133	133
	利用実績	82	102	見込 (93)

<計画>

視覚障害者の自立生活や社会参加の機会の確保に対応するため、増加を見込んでいます。

(単位：時間/月)

区分/年度		R 6	R 7	R 8
同行援護		99	106	113

(3) 行動援護

<サービス内容>

自己判断能力が制限されている人が行動するときに、危険を回避するために必要な支援、外出支援を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

圏域に該当事業所がないため、利用実績はありませんが、移動支援事業（地域生活支援事業）等で同等のサービス提供を行っています。

(単位：時間/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
行動援護	見込量	0	0	0
	利用実績	0	0	見込 (0)

<計画>

指定基準を満たす事業所が圏域にないため、第7期計画でも利用を見込んでいませんが、引き続き、移動支援事業（地域生活支援事業）で同等のサービス提供を行います。

（単位：時間／月）

区分／年度	R 6	R 7	R 8
行動援護	0	0	0

（4）重度障害者等包括支援

<サービス内容>

介護の必要性が著しく高い人に、一つの事業所が居宅介護等の複数のサービスを包括的に実施する事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

圏域に該当事業所がないため、利用実績はありませんが、複数の事業所が行うさまざまなサービスを組み合わせることで、同等のサービス提供を行っています。

（単位：時間／月）

区分／年度		R 3	R 4	R 5
重度障害者等 包括支援	見込量	0	0	0
	利用実績	0	0	見込(0)

<計画>

一つの事業所が複数のサービスを包括的に実施するもので、現在のところ圏域に指定基準を満たす事業所がないため、第7期計画でも利用を見込んでいませんが、今後も、複数の事業所が行う様々なサービスを組み合わせることで、同等のサービス提供を行います。

（単位：時間／月）

区分／年度	R 6	R 7	R 8
重度障害者等包括支援	0	0	0

第2節 日中活動系サービス

日中活動系サービスとは、主に日中において、通所等により必要な介護や訓練、支援等を提供するサービスをいいます。

(1) 生活介護

<サービス内容>

常に介護を必要とする人に、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作的活動又は生産活動の機会を提供する事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

総合支援学校の卒業者等の新規利用はありますが、65歳到達に伴い介護保険へ移行したことによる終了等もあるため、ほぼ横ばいで推移しています。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
生活介護	見込量	3,000	3,000	3,000
	利用実績	2,980	2,900	見込 (3,061)

<計画>

今後も65歳到達に伴う介護保険への移行による終了等が見込まれますが、総合支援学校卒業者等の新規利用希望もあるため、第6期計画と同程度のサービスの利用を見込んでいます。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 6	R 7	R 8
生活介護		3,103	3,145	3,188

(2) 自立訓練

<サービス内容>

自立した日常生活や社会生活ができるよう一定期間、身体機能又は生活能力向上のための訓練を行う事業です。機能訓練については、標準利用期間が最長1年6箇月、生活訓練については最長2年となっています。

<第6期見込量に対する実績状況>

機能訓練については、受け入れ事業所が少なく、標準利用期間が設けられており、期間満了後に他のサービス等へ移行するため、利用実績は減少しています。

生活訓練については宿泊型も含まれており、標準利用期間満了まで長期的に利用する場が多く、見込量を上回る実績となっています。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
自立訓練 (機能訓練)	見込量	17	17	17
	利用実績	4	1	見込(0)
自立訓練 (生活訓練)	見込量	200	200	200
	利用実績	255	240	見込(106)

<計画>

機能訓練事業については、標準利用期間が1年6箇月で限定されていること、また、指定基準を満たす事業所が圏域に1事業所のみであるため、令和5年度実績と同程度を見込んでいます。

生活訓練事業については、標準利用期間が2年間で限定されていることから、利用者の入れ替わりはありますが、現状と同程度のサービスの利用を見込んでいます。

(単位：人日/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
自立訓練(機能訓練)	20	20	20
自立訓練(生活訓練)	106	106	106

(3) 就労選択支援

<サービス内容>

障害者本人が就労先・働き方についてより良い選択ができるよう、就労アセスメントの手法を活用して、本人の希望、就労能力や適性等にあった選択を支援します。

<計画>

令和7年度から新設予定のサービスで指定事業所の新設予定も不明なことから、若干数を見込んでいます。

(単位：人日/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
就労選択支援	—	2	3

(4) 就労移行支援

<サービス内容>

一般企業等への就労を希望する人に、一定期間、就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業です。就労移行支援については、標準利用期間が最長2年となっています。

<第6期見込量に対する実績状況>

総合支援学校卒業前に就労アセスメントを目的とした利用が多く、見込量を上回る実績で推移しています。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
就労移行支援	見込量	45	45	45
	利用実績	78	109	見込(111)

<計画>

今後も就労アセスメントを目的とした一時的な利用や就労移行支援での短期間の訓練を経て、就労系サービスへ移行する状況は変わらないと考えられるため、現状と同程度の利用を見込んでいます。

(単位：人日/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
就労移行支援	132	157	186

(5) 就労継続支援

<サービス内容>

A型事業所は、雇用契約に基づく就労の機会を提供することにより、就労に必要な知識・能力の向上や一般企業等への就労に向けた支援を目的とした、必要な訓練を行う事業です。

B型事業所は、一般企業等で就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な訓練を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

A型事業所は一般企業等への就労に向けてニーズの高いサービスであり、増加傾向にあります。B型事業所は一般就労やA型事業所での就労が困難な福祉的就労の場として、ニーズの高いサービスであり、新規事業所も開設されたため、見込みを上回る実績となっています。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
就労継続支援 (A型)	見込量	850	880	910
	利用実績	844	831	見込(949)
就労継続支援 (B型)	見込量	1,583	1,600	1,616
	利用実績	1,832	1,832	見込(1,982)

<計画>

アンケート調査においても総合支援学校の卒業予定者等を中心に就労継続支援のニーズが高い状況です。A型事業所については定員数を上回る契約者数の事業所もあることから、これ以上の受け入れが困難なため、現状と同等のサービス量を見込んでいます。また、B型事業所については、新規開設予定もあることから今後も新規利用の増加が見込まれます。

(単位：人日/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
就労継続支援 (A型)	1,000	1,000	1,000
就労継続支援 (B型)	2,062	2,145	2,231

(6) 就労定着支援

<サービス内容>

就労移行支援等を利用し、一般就労に移行した人の就労に伴う生活面の課題に対応できるよう、事業所、家族との連絡調整等の支援を一定期間にわたり行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

一般就労へ移行した人数は増えてきましたが、職場環境の整備や関係機関の連携等が進み定着がスムーズに行われたため、見込量を下回っていると考えられます。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
就労定着支援	見込量	8	10	12
	利用実績	5	3	見込(3)

<計画>

安心して就労を継続するための支援として一定の利用希望があることから、現状と同程度の利用を見込んでいます。

(単位：人/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
就労定着支援	5	6	7

(7) 療養介護

<サービス内容>

長期間の医療的ケアに加え、常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護並びに日常生活の世話をを行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

おおむね見込みどおりの実績となっています。令和4年度は退所により減少しています。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
療養介護	見込量	17	17	17
	利用実績	18	17	見込(17)

<計画>

本事業の対象者は、長期間の医療的ケアに加え、常時介護を必要とする重症心身障害者等であることから、対象者も限られるため、現状と同程度を見込んでいます。

(単位：人/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
療養介護	17	17	17

(8) 短期入所(ショートステイ)

<サービス内容>

自宅で介護する人が病気の場合等に、短期間、夜間も含め、施設で、入浴、排せつ、食事の介助を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

施設入所の待機登録者を中心に短期入所を長期利用する傾向にあります。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
短期入所	見込量	158	158	158
	利用実績	143	161	見込 (237)

<計画>

在宅生活の継続や介護負担の軽減を目的としたニーズの高いサービスですが、定員に限りがあることや定期的な利用を想定し、現状と同程度を見込んでいます。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 6	R 7	R 8
短期入所		244	244	244

第3節 居住系サービス

居住系サービスとは、主に夜間において、施設や共同生活を行う住居で、必要な援助を提供するサービスをいいます。平日の日中は、利用者は日中活動系サービス等を利用します。

(1) 自立生活援助

<サービス内容>

障害者支援施設やグループホーム等を利用していた人で一人暮らしを希望する人に、一定期間、定期的な巡回訪問や随時の対応により、家事や通院等の地域生活における助言や連絡調整を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

圏域に該当事業所がないため、実績はありませんが、相談支援や居宅介護等で、地域生活における助言等を行っています。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
自立生活援助	見込量	0	0	0
	利用実績	0	0	見込(0)

<計画>

指定基準を満たす事業所が圏域にないため、第7期計画では利用を見込んでいませんが、引き続き、相談支援や居宅介護等で同等の支援を行います。

(単位：人/月)

区分/年度		R 6	R 7	R 8
自立生活援助		0	0	0

(2) 共同生活援助（グループホーム）

<サービス内容>

共同生活援助は、夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

ニーズの高いサービスであり、令和4年度に市内に新規事業所が開設されたことや圏域を越えての利用もあるため実績は増加しています。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
共同生活援助	見込量	22	22	22
	利用実績	24	27	見込 (30)

<計画>

地域移行の受け皿として、また親亡き後の生活の場として、ニーズの高いサービスです。新たな事業所の開設予定もあることから、増加を見込んでいます。

また、日中支援型共同生活援助については、サービスの質の向上を図ることを目的として、地域自立支援協議会において評価、助言を受ける機会を設定します。

(単位：人日/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
共同生活援助	33	36	40

(3) 施設入所支援

<サービス内容>

施設入所者に、夜間や休日、入浴、排せつ、食事の介護等を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

障害のある人の地域移行を進めるという国の方針に基づき、施設から共同生活援助を含む、地域生活への移行による減少を見込んでいましたが、依然として、在宅生活の継続が難しい人の利用希望があることから、見込量を上回る実績となっています。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
施設入所支援	見込量	91	91	90
	利用実績	94	91	見込 (93)

<計画>

施設入所者については、地域生活への移行を進めていくことが求められていることから、関係機関との連携により、障害の特性に応じて移行先を見極め、地域移行の促進に努めます。

(単位：人／月)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
施設入所支援	93	92	91

第4節 相談支援

(1) 計画相談支援

<サービス内容>

障害福祉サービスの利用に係る相談や調整、サービス等利用計画の作成などを行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

サービスの利用希望者が増加しており、見込量を上回る実績となっています。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
計画相談支援	見込量	83	84	85
	利用実績	93	98	見込 (103)

<計画>

障害福祉サービスの需要が高まっているため、増加を見込んでいます。障害のある人のニーズを把握し、必要な障害福祉サービス等につなぐためには、適切なケアマネジメントの実践が重要となることから、研修等の周知に努めるとともに、関係機関との連携により相談支援専門員の確保に向けて広報等に取り組みます。

(単位：人/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
計画相談支援	108	113	119

(2) 地域移行支援

<サービス内容>

障害者支援施設や矯正施設等に入所している障害者や精神科病院に入院している精神障害者等を、地域生活に移行するに当たり、住居の確保や地域生活を送る上での相談、関係機関等への同行支援等を行う事業です。利用期間は6箇月以内で、原則として1回に限り更新することができます。

<第6期見込量に対する実績状況>

令和3年度、令和4年度は実績がなく、令和5年度も利用見込みはありません。

(単位：人／月)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
地域移行支援	見込量	1	1	2
	利用実績	0	0	見込 (0)

<計画>

障害者支援施設や精神科病院の長期入院患者が地域生活へ移行していくためには、地域移行支援による支援が重要であることから、研修等の周知を通じて、相談支援専門員の育成と確保に努めます。

(単位：人／月)

区分／年度		R 6	R 7	R 8
地域移行支援		1	1	2

(3) 地域定着支援

<サービス内容>

居宅において、単身で生活している障害のある人や、家庭の状況等により同居している家族からの支援が受けられない障害者に対し、24 時間の相談支援や緊急訪問、緊急対応等を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

令和3年度に1件の利用がありましたが、令和4年度は実績がなく、令和5年度も利用見込みはありません。

(単位：人／月)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
地域定着支援	見込量	1	1	1
	利用実績	1	0	見込 (0)

<計画>

障害者支援施設や精神科病院の長期入院患者が地域生活へ移行した後に安心して生活を続けられるよう、光市地域自立支援協議会や関係機関との連携により支援体制を強化していくとともに、サービスの周知にも努めます。

(単位：人／月)

区分／年度		R 6	R 7	R 8
地域定着支援		1	1	1

第5節 障害児支援

(1) 児童発達支援

<サービス内容>

就学前の障害のある児童を対象に、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等の支援を行う児童発達支援と、肢体不自由があり、機能訓練や医療的ケア等の治療を併せて行う医療型児童発達支援があります。

<第6期見込量に対する実績状況>

市内及び近隣市において事業所が新設され、利用実績は増加しています。また、早期から発達障害と診断される児童が増加しており、利用者の低年齢化により利用実績が増えたことも考えられます。

(単位：人日/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
児童発達支援	見込量	108	108	108
	利用実績	199	197	見込(180)

<計画>

早期に発達障害と診断される児童が増加傾向にあり、ニーズの高いサービスとなっておりますが、新規事業所の開設予定はなく、大幅な利用増加は困難なことから令和5年度と同程度の実績を見込んでいます。

(単位：人日/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
児童発達支援	183	183	183

(2) 放課後等デイサービス

<サービス内容>

就学中の障害のある児童を対象に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進等の支援を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

新型コロナウイルス感染症拡大防止により利用が減少していましたが、令和3年には増加し、新規利用者も増加したことから見込みを上回る実績となっております。

(単位：人／月)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
放課後等デイサービス	見込量	710	710	720
	利用実績	789	845	見込 (979)

<計画>

ニーズの高いサービスであるため増加を見込んでいます。高まるニーズに応え、支援が必要な児童が成長に応じたサポートを受けられるよう、関係機関と連携して、支援体制の整備に努めます。

(単位：人日／月)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
放課後等デイサービス	1,000	1,000	1,000

(3) 保育所等訪問支援

<サービス内容>

保育所等を定期的に訪問し、障害のある児童が集団生活に適応できるよう、障害のある児童や保育所等の職員に対し、専門的な支援を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

市内に実施可能な事業所がないため、近隣の3事業所でサービス提供体制を確保しており、おおむね見込みどおりの実績となっています。

(単位：人日／月)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
保育所等訪問支援	見込量	1	1	1
	利用実績	1	2	見込 (2)

<計画>

市内に事業所はなく、近隣の3事業所のみです。制度の周知等を進め利用の促進を図りますが、現時点では第6期の実績と同程度と見込んでいます。

(単位：人日／月)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
保育所等訪問支援	2	3	3

(4) 障害児相談支援

<サービス内容>

児童発達支援や放課後等デイサービス等の障害児通所支援を利用している児童を対象に、相談支援専門員が障害児支援利用計画を作成し、サービス調整や生活全般の相談に対応する事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

発達障害と診断される児童が増加しており、障害児支援のニーズが高まっています。障害児通所支援の新規利用・継続利用の実績増加に伴い、障害児相談支援も比例して増加しています。また、障害児通所支援の新規利用者等については、モニタリングの頻度を高め、支援を強化していることも増加要因の一つと考えています。

(単位：人/月)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
障害児相談支援	見込量	30	30	30
	利用実績	39	40	見込 (50)

<計画>

障害児支援の需要が高まっているため、今後も利用実績が増加すると見込んでいます。引き続き、児童発達支援や放課後等デイサービス等の円滑な利用に向けて、各種研修会や光市地域自立支援協議会（相談・権利擁護部会）を活用し、相談支援専門員の資質向上に努めます。

(単位：人/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
障害児相談支援	50	55	60

第6節 地域生活支援事業

地域生活支援事業は、市及び県が主体となって、地域の実情や利用者の状況等に応じて柔軟に実施する事業です。

(1) コミュニケーション支援事業

<サービス内容>

意思疎通を図ることが困難な障害のある人に、手話通訳者等を派遣して、意思疎通の円滑化を図ることを目的としている事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴うイベント等の中止により、利用実績が減少していましたが、令和4年度からイベントの再開等に伴い、見込みを上回る実績となっています。

(単位：回/年)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
コミュニケーション支援事業	見込量	10	10	10
	利用実績	10	29	見込(26)

<計画>

コミュニケーションに障害がある人にとって意思疎通を図る上で必要な事業であるため、事業の周知に努めると共に、派遣要請に対し、適切なコーディネートができるよう、引き続き派遣体制の充実を図ります。

(単位：回/年)

区分/年度		R 6	R 7	R 8
コミュニケーション支援事業		26	26	26

(2) 日常生活用具給付事業

<サービス内容>

重度の障害のある人に対し、排泄管理支援用具等生活の自立を促進するための用具を給付することで、日常生活の便宜を図ることを目的としている事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

見込量を下回っていますが、膀胱・直腸機能障害のある人が増加傾向にあり、排泄管理支援用具の給付が増加していることを主な要因として利用実績は伸びています。

(単位：件／年)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
日常生活用具給付事業	見込量	747	770	793
	利用実績	753	744	見込 (761)

<計画>

今後も引き続き膀胱・直腸機能障害のある人の増加が見込まれることから、主に排泄管理支援用具の増加を見込んでいます。

今後も、引き続き事業の周知に努め、障害のある人の円滑な日常生活を支援します。

(単位：件／年)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
日常生活用具給付事業	765	769	773

(3) 移動支援事業

<サービス内容>

単独で屋外での移動が困難な知的障害者、精神障害者に対し、社会参加や外出支援を行う事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う外出の自粛が終了となったため、見込みを上回る利用実績となっています。

(単位：時間／月)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
移動支援事業	見込量	48	48	48
	利用実績	54	62	見込 (49)

<計画>

屋外での移動が困難な障害のある人に対し、社会参加や外出支援を行う事業であり、第6期計画中と同程度の利用を見込んでいます。今後、障害のある人のニーズに応じ、活動範囲等の拡大を視野に入れ、相談支援事業所と連携を図りながら、事業の周知に努めます。

(単位：時間／月)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
移動支援事業	50	50	50

(4) 地域活動支援センター事業

<サービス内容>

障害のある人に対して日中活動の場を提供し、創作活動や生産活動の機会や社会との交流促進を図る事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

周南圏域の相談支援事業所1箇所及び身体障害者デイサービスセンターの事業の一部を地域活動支援センターとして運営しています。

(単位：箇所数)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
地域活動支援センター	見込量	2	2	2
	利用実績	2	2	見込 (2)

<計画>

障害のある人に対して日中活動の場として、引き続き事業を継続します。

(単位：箇所数)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
地域活動支援センター	2	2	2

(5) 日中一時支援事業

<サービス内容>

障害のある人を障害者支援施設等で一時的に預かることで、障害者等に日中活動の場を提供し、日常的な訓練を行い、また、障害のある人を日常的に介護している家族の負担軽減を目的とする事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

年によってばらつきはありますが、見込みを下回る実績となっています。

(単位：回／月)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
日中一時支援事業	見込量	320	320	330
	利用実績	284	246	見込 (274)

<計画>

日中一時支援事業は、一定の利用ニーズがあり、現在12事業所に委託しています。第6期計画中の利用傾向を踏まえ、現状と同程度の利用を見込んでいます。

(単位:回/月)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
日中一時支援事業	275	275	275

(6) 生活訓練事業

<サービス内容>

生活訓練事業として、料理教室や裁縫教室といった、障害のある人が日常生活に必要な訓練や指導を行っています。

<第6期見込量に対する実績状況>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度の実績はありませんでした。見込量は下回っていますが、調理や裁縫、整理収納など、生活に身近な訓練を目的として、例年、一定数の利用があります。

(単位:人/年)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
生活訓練事業	見込量	27	27	28
	利用実績	0	9	見込(20)

<計画>

障害がある人にとって生活に必要な訓練を行う事業であり、ニーズは高いと考えられます。生活の質の向上を図る事業として、主に料理教室の開催や栄養士等による調理指導、栄養指導といった生活の質的向上を図る事業として、今後も推進に努めます。

(単位:人/年)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
生活訓練事業	20	20	20

(7) 福祉機器リサイクル事業

<サービス内容>

不要になった福祉機器の修理・洗浄等を行い、これを必要とする人にあっせんする事業です。資源の有効活用として、事業を展開しています。

<第6期見込量に対する実績状況>

近年利用実績はありませんでしたが、令和4年度には2件の利用がありました。

(単位：件/年)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
福祉機器リサイクル事業	見込量	5	5	5
	利用実績	0	2	見込(5)

<計画>

資源の有効活用につながる事業として、今後も事業を継続すると共に、リサイクル品の受入れについて、広報掲載等で周知を図ります。

(単位：件/年)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
福祉機器リサイクル事業	5	5	5

(8) スポーツ・レクリエーション教室開催等事業

<サービス内容>

スポーツを通じた体と心の健康の維持増強を図るとともに、積極性や協調性を養うことで、障害のある人の社会参加の促進等を図るための事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために事業を中止しており、令和3年度、令和4年度の実績はありません。

(単位：人/年)

区分/年度		R 3	R 4	R 5
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	見込量	300	300	300
	利用実績	0	0	見込(250)

<計画>

スポーツを通じ、障害のある人の身体機能の回復に努めると共に、障害のある人と障害のない人が集い交流することで、障害者理解の推進に努め、共生社会の実現を図っていきます。

(単位：人/年)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
スポーツ・レクリエーション教室開催等事業	250	250	250

(9) 点字・声の広報等発行事業

<サービス内容>

文字による情報入手が困難な障害のある人のために、点訳、音訳等、分かりやすい方法により、市の広報、生活情報、その他必要度の高い情報などを定期的に提供する事業です。特に視覚障害者に対する情報支援として重要な事業となっています。

<第6期見込量に対する実績状況>

定期的な依頼を含め、見込を上回る実績となっています。

(単位：人／年)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
点字・声の広報等発 行事業	見込量	11	11	11
	利用実績	12	22	見込 (25)

<計画>

特に視覚障害者に対する情報支援として、必要度の高い情報を分かりやすく提供できるよう、引き続き、事業の継続及び周知を図っていきます。

(単位：人／年)

区分／年度	R 6	R 7	R 8
点字・声の広報等発行事業	25	25	25

(10) 運転免許取得・改造費助成事業

<サービス内容>

障害のある人の社会参加の促進を図るための助成事業として、外出の機会を確保するための事業です。

<第6期見込量に対する実績状況>

年によってばらつきはありますが、一定数の利用者がいます。

(単位：人／年)

区分／年度		R 3	R 4	R 5
自動車運転免許取得 助成	見込量	3	3	3
	利用実績	0	1	見込 (6)
自動車改造費助成	見込量	3	3	3
	利用実績	2	0	見込 (2)

<計画>

障害のある人の外出の機会を確保し、自立した社会生活を送ることができるよう、今後も引き続き事業を継続するとともに、事業の周知に努めます。

(単位:人/年)

区分/年度	R 6	R 7	R 8
自動車運転免許取得助成	3	3	3
自動車改造費助成	2	2	2

